［標準様式例７－３］

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	Ｒ４行政情報システム最適化検討業務
業務概要	本業務は、行政情報システムの運用向上・最適化を図るため、関東地方整備局行政情報システムにおける整備・運用計画、セキュリティポリシー実施手順書改訂等及び次期行政情報システムに関する検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官　関東地方整備局長　若林　伸幸 埼玉県さいたま市中央区新都心２番地１
契約年月日	令和　４年　６月１６日
契約業者名	株式会社建設技術研究所
契約業者の住所	東京都 中央区日本橋浜町三丁目２１番１号
契約金額	２４，９７０，０００円（税込み）
予定価格	２５，２６７，０００円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務体制、特定テーマなどを含めた技術提案を求め、簡易公募型プロポーザル方式により選定を行った。 （株）建設技術研究所は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業務場所	埼玉県さいたま市中央区新都心２－１　関東地方整備局
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間（自）	令和４年　６月１７日
履行期間（至）	令和５年　２月２８日
備考	会計法２９条の３第４項　予決令第１０２条の４第３号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。